

# 知っていますか？ 訪れたことはありませんか？ そこは、山あいの木造旧校舎を活用し、 気軽に、芸術に親しめる場所。

昨年8月から休館し、建築基準法上の用途を「学校施設」から「会議室」「展示室」などの現状の使用用途に変更するため改修工事を行っていた西会津国際芸術村。3月末に工事が完了し、4月からは、芸術と文化の振興および地域の情報発信を通じた交流人口の拡大と地域活性化に資する公の施設として、「一般社団法人BOOTT」を指定管理者に指定しリニューアルオープンしました。

なじみのある芸術はもちろん、あまり知られていない芸術や身近な芸術にも触れられるこの施設は、知っている人にも、知らない人にも、何度でも訪れてほしい、そんな場所です。

## 空き校舎を活用して 芸術振興の拠点に

西会津国際芸術村（以下、芸術村）は、平成14年4月に町内の中学校が統合したことで空き校舎となっていた旧新郷中学校を活用し、町の芸術・文化振興の拠点施設として平成16年9月25日に誕生しました。

国際交流と地域活性化を図るため、開村と同時に外国からアーティスト（芸術家）を招き、同所に滞在しながらの創作活動や作品展開催などを実施してきました。芸術村に滞在した外国人ア

ーティストの皆さんは、それぞれが一つずつ作品を町に寄贈しているため、西会津中学校にある「庭」（第1期目滞在アーティストのケスチュニス・ラノウスカさんの彫刻）や、芸術村に今も展示されている「緑の温泉」（同エグリ・ミチケヴィチュウテさんの絵画）など、さまざまな作品が町内に残されています。

## 古くて新しい価値を 創造・発信

平成24年度からスタッフが常駐するようになり、翌25年度からは外国人にこだわらず滞在アーティストを募集し、ワークショップや企画展などを始めた芸術村。それまでは、外国人アーティストを招くことによる「国際交流と地域活性化」を目指していましたが、このころから「芸術」を人の暮らしを支える技や知恵としてとらえ、地域が失いつつある歴史、風土、民俗、文化、伝統技術などを、デザインやアートが持つ創造力と融合して、古来から培われてきた伝統的な暮らしの知恵を再評価し、古くて新しい価値観を創造・発信

することにしました。

平成26年度には日本人アーティストが20人以上滞在し、翌27年度には国内外のアーティストが26人、28年度には44人が滞在しました。実施した企画数も、平成26年度の14回から、18回、44回と倍増しています。

近年では、この芸術村を中心にクリエイティブな人材が町に集まってくることで、町外の人と地元住民の交流の場や、移住者の情報交換の場にもなっています。

## 西会津国際芸術村 公募展

芸術村では、NPO法人や地域住民の皆さんが実行委員会を結成し、平成18年から「西会津国際芸術村公募展」を実施しています。



【写真】公募展の様子

初めて開催したときの応募総数は26点でしたが、年々応募数が増加し、東日本大震災からの復興を願う「アートの力でよみがえれ、FUKUSHIMA!」をスローガンに開催した第6回公募展には188点、平成28年の第11回公募展には過去最高の205点の応募があり、廃校となつて一度は人がいなくなった木造旧校舎を、さまざまな芸術作品がにぎやかに埋め尽くしました。

公募展の展示は例年9月下旬〜10月上旬にかけて行われます。ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 定住移住相談 支援センターを設置

町では、平成27年度から芸術村に「定住移住相談支援センター（西会津のある暮らし相談室）」を設置しています。この場所に集う人と出会い、情報交換しながら、町での暮らしを考えられるようお手伝いしますので、移住先を探している人や、町に移住したい人などを知っている場合は、ぜひこの窓口をご紹介ください。

### 特集



NIAV-NishiAizu International Art Village  
西会津国際芸術村

西会津国際芸術村は、旧新郷中学校の木造校舎を活用したフルクテアタラシイ山の暮らしを創造するためのクリエイティブセンター。





【じぶんカフェ】全20席、お湯あり、Wi-Fiあり、全館禁煙

**カフェのふりした無料休憩所「じぶんカフェ」**

芸術村には、「じぶんカフェ」という無料休憩所があります。飲みたい物、食べたい物を持参して好きな場所に座るだけ。お気に入りの場所を探してください。

読書をしたり、お茶を飲んだり、おしゃべりしたり、コワーキングスペースとしての使用もOKです。



**近年、来館者が急増！**  
**年間約4000人が来館。**  
**多彩な企画展や**  
**ワークショップなどを開催中。**

**企画展を開催中！**

芸術村では、本年度もさまざまなワークショップや企画展などを開催しています。4月14日～5月6日までは林明輝作品展「Design Space 新しい風景のかたち」を開催したほか、5月13日から始まった北川恵子作品展「いつかまたひかり」は6月10日まで鑑賞できます。また、その後は、滞在アーティストのオーロラ・デル・リオさんや、元町地域おこし協力隊員の小堀晴野さんによる企画展も開催する予定です。この機会にぜひ鑑賞ください。

**〈問い合わせ先〉**

西会津国際芸術村（午前10時～午後5時まで、月曜・火曜休館）  
 ☎47-3200



【写真上】4月14日～5月6日まで行われた林明輝写真展「Design Space 新しい風景のかたち」から。デジタルカメラやドローンなどで撮影した日本各地の絶景が木造旧校舎を埋め尽くしました。5月6日にはギャラリートークが行われ、林さんが作品を説明しながら参加者の質問に答えたり、写真の撮り方や現像の仕方を指南したりしました

【写真下】絶景写真家でドローンパイロットの林明輝（りん・めいき）さん

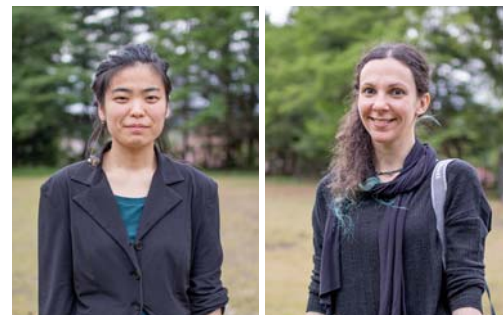
6月10日まで開催中の北川恵子作品展「いつかまたひかり」のチラシ【写真上】展示の様子【写真下】



**芸術村改修工事の内容**

建築基準法上の用途を「学校施設」から「会議室」「展示室」といった多くの人が集まる場所に用途変更するため、スプリンクラーや非常階段、誘導灯などの消防設備を設置しました。また、今後は木工房や飲食提供施設の整備なども進めていきます。

【写真上】企画展に向けて作品の制作に取り組む滞在アーティストのオーロラ・デル・リオさん



【写真下左】小堀晴野さん(左)、オーロラさん(右)

【写真上】自動火災報知器



【写真下】芸術村の裏手に設置したスプリンクラーの受水槽と非常階段

**多種多様な人が町に集うきっかけを生み出す施設**

「芸術村は、芸術を起点に多種多様な人が町に集まるきっかけを生み出す施設です。気軽に来てもらい、西会津での暮らしが文化的に豊かなものになるようなお手伝いのできたらうれしいです」と話す矢部さん。矢部さんに限らず、スタッフの皆さんの笑顔と話しやすさもこの場所の魅力です。



あ そ び に き て ネ !



アラウミ不動産  
移住定住担当  
荒海 正人さん



(一社)BOOT  
インターン  
小柴 絵美裕さん



町役場  
地域おこし協力隊  
池田 麗奈さん



町役場  
地域おこし協力隊  
渡部 央也さん



NPO西会津国際芸術村  
公募展事務担当  
星 眞智子さん



(一社)BOOT  
事業担当  
佐々木 雄介さん



(一社)BOOT  
総務担当  
須藤 雅人さん



(一社)BOOT  
代表理事  
矢部 佳宏さん

西会津国際芸術村の  
STAFFの皆さん